

総合診療科

★診療科概要

島根県立中央病院の総合診療科は、医学が細分化および専門分化している昨今、患者さんを、全人的に、総合的にみることを目的として1994年4月に開設。現在毎日3から4診体制で診療を行い、入院では感染症や未診断の発熱性疾患、膠原病疾患、多疾患複合患者の退院支援などを担い、院内の横断的な業務(研修医指導、抗菌薬適正使用チーム、ポリファーマシー対策チーム、地域連携センター業務、緩和ケアチーム活動、クリニカルパスチーム)などに積極的に関わっています。

さらに地域総合医育成科と連携して地域医療機関の代診業務等の地域医療支援を行っています。

★今後の高齢者医療を担える人材を育てる

高齢者人口の増加に伴い、多疾患複合患者さんは必ず増えてきます。目の前の人を疾患ではなく人として、患者ではなく地域で生活する一員としてとらえ、複合的な問題を早期に診断・対処することで元の生活に戻れるように診療し多職種で連携して支援しています。これら多岐にわたる問題を適時適切に対応できるようになるにはトレーニングが必要です。

総合診療科では指導医-専攻医-臨床研修医が屋根瓦式に連携しチーム医療を行っています。診療には経験と振り返りを行い、クリニカルジャズや臨床推論で症例を深く掘り下げ、レジデントデイでまとめと報告を行っています。

2024年度から2名の総合診療専門研修専攻医を加えて、総合内科研修専攻医1名とともに総合診療科を研修中です。当院の総合診療専門研修プログラムに在籍する専攻医は5名、さらに5名の新家庭医療専門研修専攻医が在籍し県内他施設でプログラム研修を行っています。これらの指導には各専攻医の進行状況に合わせた丁寧な指導が重要で、地域総合医育成科と連携して指導しています。

1週間の研修スケジュール

		午前	午後
	曜 日	診療内容	
1週間の研修スケジュール	月曜日	外来	退院調整 カンファレンス
	火曜日	救急対応・他科 コンサル	チーム医療 クリニカルジャズ
	水曜日	病棟診療	臨床推論 レクチャー
	木曜日	外来	病棟 カンファレンス レジデントデイ
	金曜日	救急対応・他科 コンサル	週の振り返り



指導医がサポートしながら外来診療
(外来終了後に10-15分で振り返り)



臨床推論レクチャー (1回/2週)



総合診療科レジデントデイ

経験

実践の中でその後の活動に役立つようなエピソード的経験(成功・失敗)を積む

省察

実践体験を振り返り、その後の活動に役立つようなエピソードを抽出する

実践

現場で様々な状況に直面し、対応策を用いて状況を乗り越える

概念化

エピソードを検討し、その後の活動に役立つ「独自の知見」を導き出す



総合診療科ではこんな疾患を診ることができます。

(2023年4月1日～2024年3月31日)

ICD分類【入院病名】	患者数
呼吸器系の疾患	217
筋骨格系および結合組織の疾患	80
内分泌・栄養および代謝疾患	67
原因不明の特殊目的用コード ※	60
腎尿路生殖器系の疾患	52
感染症および寄生虫症	49
損傷、中毒およびその他の外因の影響	36
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30
循環器系の疾患	25
皮膚および皮下組織の疾患	17

ICD分類【外来病名】	患者数
筋骨格系および結合組織の疾患	389
循環器系の疾患	359
内分泌・栄養および代謝疾患	314
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	311
感染症および寄生虫症	138
神経系の疾患	134
精神および行動の障害	96
皮膚および皮下組織の疾患	81
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	76
腎尿路生殖器系の疾患	71

